

令和〇〇年4月分

居宅介護サービス提供実績記録票

旧様式からの変更点  
様式変更なし

1時間を二人派遣で提供した場合、各利用日に係る欄の算定時間数は1時間とし、下の合計欄においては2時間を記載する。(1時間×2人=2時間)

〇△□事業所

家事援助 5時間/月  
通院介助(身体介護伴う) 5時間/月

日付	曜日	サービス内容	居宅介護計画		サービス提供時間		算定時間数	人数	初回加算	緊急時対応加算	福祉専門職員等連携加算	利用者確認欄	備考
			開始時間	終了時間	計画時間数	乗降							
1	日	身体	10:00	11:30	1.5		1.5	1	1				
2	月	通院(伴う)	10:00	11:00	1		1	2					
5	木	家事	15:00	16:15	1.25		1.25	1					
5	木	家事(基礎等)				15:00	16:15	1.25	1				
13	金	乗降	18:00	18:30	1		1	1					
15	日	① 身体	13:00	16:00	3		3	1					
15	日	② 身体	14:00	15:00	1		1	1					
16	月	① 身体	13:00	15:00	2		2	1					
16	月	② 身体(基礎等)	14:00	16:00	2		2	1					
30	月	身体(重訪)	22:00	23:00	1		1	1					
3	火	通院(伴う)	10:00	11:30	1		1	1					運転中10:15~10:45を除く
10	火	身体	8:00	11:00	1.5		1.5	1					空き時間8:45から10:00/10:45から11:00
17						12:00	13:00	1	1	1			緊急時対応加算を算定する場合、「1」を記載する。
19					2	8:00	10:00	2			1		同一建物減算
合計		居宅における身体介護			14			15					
		通院介護(身体介護を伴う)			2			3					
		家事援助			1.25			1.25					
		通院介護(身体介護を伴わない)							1回	1回	1回		
		通院等乗降介助			1			1					

減算対象となる従業者によりサービス提供した場合は、当該従業者の資格(基礎等)(重訪)を併記する。

二人派遣の時間帯がある場合で、1人目と2人目の従事者要件(基礎研修課程修了者や重度訪問研修修了者)が異なる場合は、それぞれ行を分けて記載する。

二人派遣で時間がずれた場合、2行に分けて記載する。一行目は全体の通算時間を記載する。二行目はヘルパーが重複している時間帯を記載する。派遣人数は行ごとに1と記載する。

当初の計画と実績においてヘルパーの資格が変更(例: 初任者等→基礎等)した場合、2行に分けて記載する。※報酬の算定は基礎等の単価により算定する。(例: 計画時基礎等→実績時初任者等に変更の場合も報酬の算定は基礎等の単価により算定する。)

乗降の場合は回数を記載する。

事例は、通院等乗降介助を行い、かつ、通院等乗降介助の前後に連続して20~30分程度以上の身体介護を行うことにより通院介助(身体介護を伴う)を算定する場合の記載例。全体の通算時間は10:00~11:30であるが、10:15~10:45はヘルパーが運転中の例。算定時間数については、ヘルパーの運転時間0.5時間を除いた時間数を記載する。

(注)3日、10日の利用分については、本資料作成都合上、暦の順序から分けて記載しています。

2時間以上サービス間隔があかなかった場合、1行にサービス時間全体を通しての開始時間及び終了時間を記載し、備考欄に空き時間を記載する。算定時間数は、通算時間の3時間-空き時間の1.5時間=1.5時間

当該サービス提供月において、居宅介護計画に記載したサービス提供予定日、その曜日を記載する。また、ヘルパーを2人派遣する場合で2行に分けて記載する場合はヘルパーごとに番号(丸囲み)を記載する。(様式2及び様式3-1についても同様。)

算定時間数の内訳を集計する。

ヘルパーの資格により適用される単価ごとに算定時間を記載する。

福祉専門職員等連携加算を算定する場合、「1」を記載する。

事業所と同一敷地の建物又は利用者が20人以上居住する建物の利用者に提供した場合、「同一建物減算」を記載する。事業所と同一敷地の建物であって利用者が50人以上居住する建物の利用者に提供した場合、「同一建物減算(大規模)」を記載する。